

希望を胸に 二十歳の誓い

新成人の門出を祝う「成人式」が1月9日、市文化センターで開催されました。振り袖、羽織袴やスーツに身を包んだ新成人500人(対象者694人)が出席。旧友との再会を喜び合う歓声が会場のあちこちで聞こえました。

まず、八幡市市歌の斉唱や市内で活動する和太鼓サークル「鼓龍」の力強い演奏で新成人を祝福。続いて、明田市長と森川市議会議長が、はなむけの言葉を贈りました。

最後に新成人を代表して、清水幹大さんと大原里美さんが誓いの言葉を述べました。東日本大震災の被災地に思いをはせ「私たちが笑顔で楽し

新成人500人を和太鼓で祝福

く暮らせる世界を、自分たちの手で創っていかねければなりません。一人一人の力は小さくても、社会や個人の課題に積極的に取り組んでいきま



誓いの言葉を述べる清水幹大さんと大原里美さん



振り袖姿などの新成人にぎわう会場



京都サンクロウズの選手とゲームを楽しむ生徒たち

まちの話題

男山中学生車いすバスケット挑戦!

「京都サンクロウズ」選手招き授業
 スポーツを通じて、障がい者に対する理解を深めようと、車いすバスケットボールチームを招いた授業が1月19日、男山中学校で行われました。

講師となったのは、京都を拠点に活動する「京都サンクロウズ」の選手たち。全校生徒360人が参加し、選手とツインバスケットボールの試合で交流を深めました。

ツインバスケットボールとは、一般のバスケットボールのゴールと高さ1.2mの低いゴールを設置。障がいの程度に応

じて、いすれかにゴールでできるよう工夫されているのが特徴です。

各学年からツインバスケットの体験を希望した生徒は、安定性と小回りが利くように、タイヤが「ハの字」に取り付けられた競技用車いすに乗り、ルールや一連の操作を学びました。その後、選手を交えて試合開始。車いすの操作に苦戦しながらも、必死でボールを追いかける姿に、周囲で応援する生徒から大きな声援が送られていま

冬空にあがった連凧と子どもたち



児童がお点前披露

市教委主催「新春お茶会&人形劇」

市教委主催の「新春お茶会&人形劇」が1月10日、美濃山コミュニティセンターで開かれました。親子連れなど約160人が、新春のイベントを満喫しました。

まず、市内の人形劇団「紙ふうせん」が、音楽に合わせて人形を操るミニシアターなど2作品を披露。子どもたちは、団員の作りだす物語の世界に引き込まれていました。

その後、日本の伝統文化に触れてもらおうと開いた

茶会では、同センターで活動する茶道サークル「美築益」と「子ども茶道教室」の児童4人が参加者をもてなしました。児童はお点前を披露したほか、抹茶や和菓子を運び「どうぞ」とごあいさつ。参加者は緊張した様子で味わっていました。

お点前を披露した大前梨花さん(11)は「ちゃんと出来るか心配だったけど、今日の出来には90点つけられます」と、こやかに話していました。



参加者にお茶を運ぶ児童

龍の如く連凧あがる

東日本大震災被災地へエール

ものづくりの楽しさを体験してもらおうと、市民交流センターで凧作りが1月14日に行われました。親子連れなど約100人は、日本古来の遊びを楽しみました。

凧作りは、市青少年育成補導委員会の役員たちが指導。親子連れは、アニメのキャラクターなどがデザインされた和紙に、竹ひごやひもなどを取り付けて凧を完成させました。

その後、川口市民運動公園に移動。

凧がうまく風をつかまえ、空高く舞うと子どもたちは大はしゃぎ。公園の上空は、気持ちよさそうに泳ぐ凧がいっぱいになりました。

また、同委員会は東日本大震災の被災地にエールを送ろうと「がんばろう日本! がんばれ東北の子供達」と書いた連凧を用意。連凧が龍のように勢いよく昇る様子を見守っていた親子連れから歓声が上がっていました。